

令和5年度

学 力 向 上 プ ラ ン
【後期】



上尾市立大石北小学校

上尾市立大石北小学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標

ともに学び 明日をつくる

- ・信頼される生き生きとした学校
- ・心豊かでたくましい子
- ・信頼され、情熱のある教職員

学校課題研究主題

「個別最適な学びと協働的な学びのベストミックス」

学力・学習状況調査の結果

R5 全国学力・学習状況調査	R5 埼玉県学力・学習状況調査	R4 上尾市立小・中学校学力調査
<ul style="list-style-type: none"> ・国語、算数ともに平均正答率は全国、県平均を5%以上上回っている。 ・国語の図表やグラフなどを用いて考えを伝える問題の正答率が低い。自分の考えをまとめる力は高い。 ・算数では、図形の性質を言葉や数を用いて記述する問題の正答率が低い傾向にある。数と計算の能力は高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力レベルの平均は、国語が3レベル、算数が2レベル伸びている。 ・国語、算数ともに、学力を伸ばした児童の割合は埼玉県の平均を上回っている。 ・非認知能力の向社会性の項目の数値が埼玉県と比較すると低い。一方、学習方略の努力調整方略や認知的方略は高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語では、情報の扱い方についての正答率が低い。また、言葉の特徴や使い方に関する事項について正答率が低い学年も見られる。 ・算数では、思考・判断・表現について正答率が低い。特にデータや図形の条件を整理して自分の考えを説明する問題に誤答や無回答が多い。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
<ul style="list-style-type: none"> ○学習の基礎・基本となる語彙力や表現力 ○探究的な学習や体験的な活動をもとに、新たな知識・技能を習得する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な学習事項を習得し、自ら学びをつくる力 ○自分の意見や根拠を正しく相手に伝える力 	<ul style="list-style-type: none"> ○状況等に応じて適切に判断し、自ら選択しようとする力 ○主体的に、粘り強く学ぼうとする力

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
<ul style="list-style-type: none"> ○明確な学習課題の設定 ○個に応じた指導の工夫・改善 ○家庭・学校応援団と協力した学習 ○体験活動を通じた学習 ○横断的・往還的な学び 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本を活用し、自己決定していく場面の設定 ○各教科の見方・考え方などを働かせ、学び方を身に付ける指導の充実 ○協働的な学習形態を取り入れた、深い学びの推進 ○目的意識をもたせた課題提示とそれを解決するための表現の工夫 ○どの教科でも自分の考えを表現する場面を設定 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育課程の工夫・改善 ○学習規律の確立を図る ○見通しをもたせ、学習を振り返る時間の設定 ○選択する場面や機会の設定 ○自己評価シートの工夫 ○「大石北小授業のポイント」による授業改善の視点の共有 ○ICTを活用した個別最適な学習と協働的な学びの推進

本校の特色ある取組

- ・PTAや学校応援団と連携し、ビオトープやくすどり自然博物館等の整備と学習での活用
- ・google サイトを使った学習コンテンツ集「北小ポータル」や google classroom、オンライン教材の積極的な活用

家庭教育との連携

- ・くすどりプリントの活用
- ・google forms を活用したアンケート調査の実施
- ・ICT 端末の持ち帰りと google classroom の活用

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組（低学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①学習の基礎・基本となる語彙力や表現力 ②探究的な学習や体験的な活動をもとに、新たな知識・技能を習得する力	③基本的な学習事項を習得し、自ら学びをつくる力 ④自分の意見や根拠を正しく相手に伝える力	⑤状況等に応じて適切に判断し、自ら選択しようとする力 ⑥主体的に、粘り強く学ぼうとする力



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①、④、⑥	①自分の考えが相手に伝わるように、順序立てて考えたり、話したりさせる取組。 ④自分の思いを、短文に書き表す取組。 ⑥読書に親しむ時間をつくり、言語への興味・関心を高める取組。	
算数	②、③	②具体物の操作や絵や図を用いた関係性の説明を通して、数感覚や算数的な見方を身に付けさせる取組。 ③導入場面や ICT 機器活用を工夫することにより、児童の関心や意欲を効果的に高める取組。	
生活	②、④、⑤	②体験的な活動を通して人と関わり合いながら、試行錯誤を繰り返し、新たな発見をしたり気付いたりさせる取組。 ④感じたり気付いたりしたことを、言葉、絵などで表現できるようにする取組。 ⑤観察や活動の視点を示し、振り返ったり気づきを交流したりする場を設定する取組。	
音楽	①、③、⑥	①歌唱や演奏する活動を通して、基本的な技能を身に付けさせる取組。 ③拍の流れにのって、リズム遊びを楽しませる取組。 ⑥曲想や拍の流れを感じ取り、楽しく身体表現をする取組。	
図画工作	②、③、⑤	②身近な材料を用いたり、扱いやすい用具を使ったりする取組。 ③既習事項や新たな表現の仕方を生かし、自分の思いを表現する取組。 ⑤思い付いたことや方法をすぐに試すことができるようにする取組。	
体育	②、⑤	②体の基本的な動きや各種の運動の基礎となる動きを身に付けさせ、児童が運動を楽しく、力いっぱい活動できるようにする取組。 ⑤活動の仕方や競争のルール等を児童の実態に応じて工夫し、児童が運動を楽しめるようにする取組。	
英語活動	①、⑥	①日頃から Class Room English を実施し、外国語に慣れ親しませる取組。 ⑥児童の実態に合わせてゲームや歌を設定し、楽しい雰囲気の中で英語に親しませる取組。	
特別の教科 道徳	④、⑤	④自分の感じたことや思ったことなどを自由に発表し合い、友達のいろいろな考え方に気付かせる取組。 ⑤自分自身を振り返り、自分のよさや自分ができないことなどに気づき、これからの自分について考えさせる取組。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組（中学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①学習の基礎・基本となる語彙力や表現力 ②探究的な学習や体験的な活動をもとに、新たな知識・技能を習得する力	③基本的な学習事項を習得し、自ら学びをつくる力 ④自分の意見や根拠を正しく相手に伝える力	⑤状況等に応じて適切に判断し、自ら選択しようとする力 ⑥主体的に、粘り強く学ぼうとする力



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①、④、⑤	①時間的な順序や事柄の順序等を考えながら読む取組。 ④「始め」「中」「終わり」の段落、文章構成を意識し、主語、述語を正しく使って、継続的に小作文を書く取組。 ⑤丁寧な言葉遣いに気を付け、伝えたいことを相手に伝えるように話したり、聞いたりするようにさせる取組。	
社会	②、④、⑥	②自分の考えを交流する場を設け、学習に対する意欲を高める取組。 ④ICT 機器を活用し、取捨選択して必要な情報を集め、わかりやすく相手に伝えるようにまとめさせる取組。 ⑥児童が調べてみたいと思うような課題提示の取組。	
算数	①、②、④、⑥	①具体物や半具体物の操作等、数学的活動を多く取り入れ、数量の感覚を正しくつかませる取組。 ②三角形の性質や図形を多面的に見る力を高められるように、解いてみたいと思うような問題場面を工夫し、様々な適用問題を提示する取組。 ④問題解決のために必要となる算数の用語に着目させ、自分の考えを言葉や数字、式などを自分に合った方法を選択させる取組。 ⑥既習事項を振り返る習慣を作り、単元横断的、学年横断的に考えを広げる取組。	
理科	②、④、⑤	②ICT機器を含め、様々な道具を活用し、自然の事物・現象について違いを発見する楽しさを味わわせる取組。 ④観察、実験の際に見方や考え方のポイントを押さえ、自分の考えを文章や絵で表現する活動に取り組む。 ⑤問題や課題を解決するための手立てや方法など、児童に課題意識をもたせ、学習活動の過程を意識させる取組。	
音楽	③、④、⑤	③友達と一緒に、歌唱や器楽演奏をする楽しさを味わわせる取組。 ④歌詞の内容や、曲想に注目して曲の特徴を捉えた表現を工夫させる取組。 ⑤自ら楽器を選択するなど、夢中になって取り組む活動を工夫し、表現の能力を楽しく身に付けさせ、音楽表現の楽しさに気付くような取組。	
図画工作	④、⑤	④ICT 端末の活用や手本となる作品を提示し、本時の流れを詳しく説明することで、豊かな発想につなげるような取組。 ⑤自らの作品に応じて道具や技法を選択し、試行錯誤しながら表現を広げられるようにする取組。	

体育	①、②、⑤	①慣れの運動を十分に行い、基礎的な動きを身に付けられるような取組。 ②場の工夫や課題を明確化し、児童の意欲を高める取組。 ⑤児童の課題にあった場の設定を工夫し、活動時間を確保する取組。	
外国語活動	②、③、⑥	②普段から Class Room English を活用し、外国語に慣れ親しませる取組。 ③can do リストやふり返しカードを活用し、自己評価を行う取組。 ⑥児童の実態に合わせてゲームや歌を設定し、楽しい雰囲気をつくる取組。	
特別の教科 道徳	②、⑤	②一人一人のよさを認め合い、どのような考えも安心して発表できる学級の雰囲気をつくる取組。 ⑤道徳的な価値を実感させ、それまでの体験から自分を見つめさせるよう取り組む。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組（高学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①学習の基礎・基本となる語彙力や表現力 ②探究的な学習や体験的な活動をもとに、新たな知識・技能を習得する力	③基本的な学習事項を習得し、自ら学びをつくる力 ④自分の意見や根拠を正しく相手に伝える力	⑤状況等に応じて適切に判断し、自ら選択しようとする力 ⑥主体的に、粘り強く学ぼうとする力



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①、④	①自分の意見を書く時間や授業の振り返り、日記等、文章を書く機会を増やす。また既習の漢字は使うような取組。 ④叙述を基に自分の考えをまとめたり、対話する時間を十分に確保したりして、自分の考えや気付きを表現するとともに他者の考えを取り入れ、自分の考えを深化するような取組。	
社会	②、④、⑥	②資料を読み取る活動を取り入れる。その際、着目点を明確にして取り組ませる。他の資料と比較させ、共通点や相違点、変化等について読み取り、説明させる取組。 ④自分の考えを示すときは、根拠をはっきりとさせて、言葉や図で書き表す取組。 ⑥児童が調べてみたいと思うように、資料を用意し、日常生活との関連も意識して、課題設定等に生かす取組。	
算数	①、④	①計算の定着を図るため、繰り返し問題を解かせる。その為にICT機器や具体物を活用する取組。 ④自分の意見を書き表す時間を十分に確保し、論理的に相手に伝える力を育成する取組。	
理科	①、④、⑤	①各実験を行う前に、比較すべきことを確認し、条件制御の必要性について考えるように支援する取組。 ④観察や実験では予想とその根拠についてノートやデジタル教材に書き、結果から分かることを自分の言葉で考察として書かせたり、交流したりする取組。 ⑤実験道具、ICT機器を活用し、身の回りの現象の変化とその要因を関連付けさせる取組。	
音楽	①、⑤	①反復学習を行い、ハ長調の視唱・視奏の技能を身に付けさせる取組。 ⑤歌詞の内容や、曲想に注目して曲の特徴を捉え、自身の表現を工夫させる取組。	
図画工作	②、④、⑥	②児童の表現の幅が広がるように、既習の技法（にじみ、ぼかし等）や新しい技法を実演で示す取組。 ④適宜、話し合い活動を設けることにより、表したいものへのイメージを膨らませたり、様々な表現の仕方があることに気付かせたりする取組。 ⑥意欲を高めたり、活動しやすくするために、ICT機器等を活用して、例示を行ったり、モデリングを通して、やり方を具体的に示したりする取組。	
家庭	①、③、⑤	①実習や製作の活動を通して、安全に留意した使い方等、基本的な技能や用語の定着を図る取組。 ③実践的・体験的活動を通して、習得した知識や技能を実	

		生活に結びつける取組。 ⑤ I C T機器を活用して、調理や製作場面の具体的なイメージをもたせて、活動への意欲を高めたり、交流場面を設けて、より活動しやすい方法を見い出したりする取組。	
体育	②、③、⑥	②各運動領域の楽しさと特性を味わわせ、基礎・基本となる体力を高めるとともに、授業の振り返りから自己の課題を見つめ直し、解決させる取組。 ③児童が自ら課題を考え、解決する力を育てるために、場の工夫や課題の明確化、評価の一体化、教材・教具の活用、指示や説明の簡略化する取組。 ⑥主体的に粘り強く取り組む力を育てるために、単元や授業のねらいを確認することで、本時に必要な運動の技能について見通しをもたせる取組。	
外国語科	①、④、⑥	① 4線板を利用した書く練習やフラッシュカードやチャンツなどを活用して繰り返し練習を行い、視覚的・聴覚的に単語や発音を覚える取組。 ④身近な話題を基に、まわりの友達とペアやグループで簡単な会話をする時間を設け、楽しみながらやりとりに慣れさせる取組。 ⑥振り返りカードの活用により、自己評価をし、次時への見通しをもたせる取組。	
特別の教科 道徳	②、④、⑤	②道徳的な価値を実感させ、生活で実践することができるよう自分を見つめさせる取組。 ④互いの違いを確認し、承認できるように話し合いを充実させる取組。 ⑤一人一人の意見を尊重し、どのような考えも安心して発表できる学級の雰囲気をつくる取組。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

(2) 教育活動全体を通じた取組

本校の特色ある取組

- | | |
|--------------------|---|
| ① P T A活動
学校応援団 | (1)毎月初めに保護者・教職員が校門に立ち、あいさつ運動を行う。
(2)ピオトープの保全活動を定期的に行う。
(3)さつまいも植えや収穫、ミシンボランティア、スズムシ飼育等の学習や体験活動に参加している。
(4)理科室前に生体展示、パネル展示等の「くすどり自然博物館」を設置し、週2～3回えさやりや水替えの協力を行ったり、国語や理科、総合等で学習材として活用したりしている。
(5)ほたる鑑賞会や昔あそび、生活科探検の見守り等、地域への情報発信、啓蒙活動をコーディネーターに行っていたいでいる。 |
| ②特別活動の取組 | (1)児童会による校内あいさつ運動を実施している。
(2)希望者によるあいさつボランティアの実施をしている。 |
| ③道徳科の取組 | (1)授業参観で各学級1回授業を公開する。
(2)ICT機器を活用した授業を行う。
(3)教育相談だよりを各学期に一回家庭に配付をする。
(4)各学年で道徳資料を單元ごとに整理をしている。
(5)「匠の技」授業の取組などに参加し、校内研修を行う。 |
| ④外国語活動の取組 | (1)ポートフォリオを活用して、指導・評価の工夫をする。
(2)学級担任（教科担任）とALTが協力して授業を行う。
(3)給食の献立をALTが放送したり、業間休み等に英語のゲームを楽しむ時間や場所を設けたりと、英語に親しめる取組を進める。
(4)ICTを活用し、発音に慣れ親しませる。 |
| ⑤基礎・基本の徹底 | (5)English ParkとしてALTと会話をする機会をつくる。
(1)スタートタイムや習熟の時間に、くすどりプリントやデジタルドリル等を活用して必要な学習を繰り返し行い、学習内容の定着を図る。
(2)google サイトを使った学習コンテンツ集「北小ポータル」や google classroom、まなびポケット、オンライン教材の積極的な活用を行う
(3)月に一度家庭読書の日を設け、読書活動の推進を図る。 |
| ⑥特別支援教育の取組 | (1)自分の気持ちや思い、考えを自分の言葉で伝えられるよう支援する。そのために、自分の気持ちをどう伝えればよいか、表現を示し、児童自身でも振り返ることができるようにする。
(2)学習の目的を明らかにし、児童が学ぶことに興味や関心をもてるように支援する。交流なども通じて、児童同士の多様な考えに触れさせ、自分と異なる考えがあることを理解させる。
(3)毎日の運動習慣をつくり、健康の保持・増進や、体力向上にむけた実践を継続する力を育てる。 |

家庭教育との連携

①家庭学習の充実	<p>(1)くすどりプリントやまなびポケット、デジタルドリルの活用を学校側から保護者に啓発するとともに、教師による継続的な指導により活用率を向上させ、習熟を図る。</p> <p>(2)各学年で家庭学習カードを活用し、家庭学習の充実を図る。</p> <p>(3)google site を使って学習コンテンツ集「北小ポータル」を作成。e board とともに ICT を活用して学校教育と家庭学習の連携を図る。</p>
②学校公開	<p>(1)授業参観、学校公開等で学校での学習状況や児童の活動を 家庭に把握していただく。また、google forms を活用してアンケート調査を行い、それを検証することで学校教育活動の改善を図る。</p> <p>(2)学習準備、家庭学習・早寝早起き朝ごはん等の家庭の協力を得る。</p> <p>(3)外国語教育の授業公開。</p>
③学校メール配信・ 学校ホームページ 活用	<p>(1)適宜、学校配信メール（さくら連絡網）で学校情報・教育 情報、不審者情報等を配信する。</p> <p>(2)行事や授業の様子を学校ホームページに公開し、情報を発信するとともに、家庭の協力を得る。</p>